

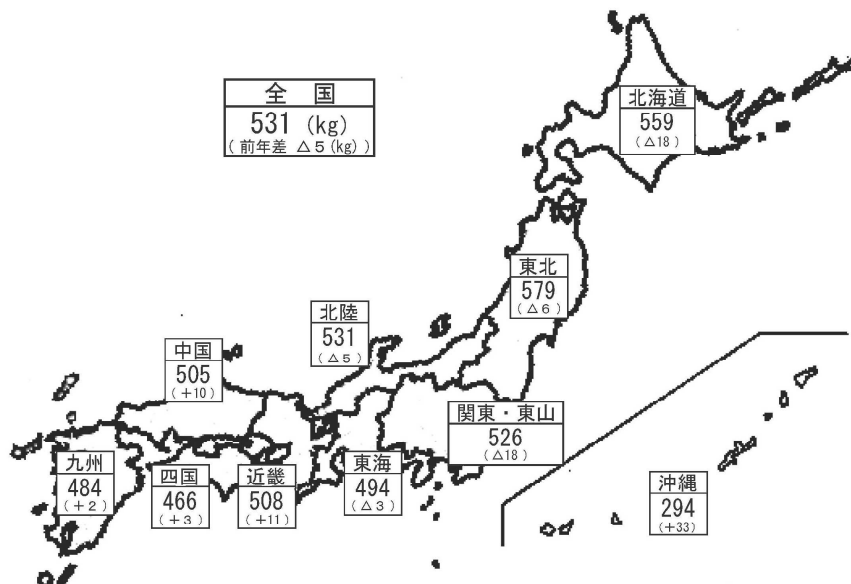
平成27年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）

－ 予想収穫量（主食用）は744万4,000 t（前年産に比べ43万8,000 t 減少）の見込み －

【調査結果の概要】

- 平成27年産水稻の作付面積（子実用）は150万5,000haとなり、前年産に比べ6万8,000ha減少した。うち主食用作付見込面積は140万6,000haとなり、前年産に比べ6万8,000haの減少が見込まれる。
- 全国の10 a 当たり予想収量は平年並みの531kgとなり、前年産に比べ5 kgの減少が見込まれる。
これは、北海道及び東北では、全もみ数及び登熟がおおむね平年を上回った一方、関東以西では、全もみ数は地域によって差があったものの、8月中旬以降の日照不足や台風等の影響により登熟が総じて平年を下回っていると見込まれるためである。
- 以上の結果、予想収穫量（子実用）は798万8,000 tとなり、前年産に比べ44万7,000 tの減少が見込まれる。このうち、主食用の予想収穫量は744万4,000 tとなり、前年産に比べ43万8,000 tの減少が見込まれる。
- ふるい目幅別重量分布について全国平均でみると、1.85mm未満の玄米の重量割合は4.2%と見込まれ、直近5か年平均値を0.5ポイント上回っている（農家等が使用しているふるい目幅ベースの全国の作況指数は100）。

図1 全国農業地域別10 a 当たり予想収量（10月15日現在）



- 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
- 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積（平成27年10月15日現在）を除いた面積（見込み）である。
- 10 a 当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。なお、農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は4ページを参照。
- この調査は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数、登熟状況等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

◎ 水稻調査結果の主な利活用

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針及び米穀の需給見通しのための資料
- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業災害補償法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業における共済基準収穫量算定のための資料

◎ 累年データ

水稻（子実用）の年次別推移（全国）

年 産	作 付 面 積 (子 実 用)	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量 (子 実 用)	参 考		
				主 食 用 作 付 面 積	収 穫 量 (主 食 用)	作 況 指 数
	ha	kg	t	ha	t	
平成元年産	2,076,000	496	10,297,000	…	…	101
2	2,055,000	509	10,463,000	…	…	103
3	2,033,000	470	9,565,000	…	…	95
4	2,092,000	504	10,546,000	…	…	101
5	2,127,000	367	7,811,000	…	…	74
6	2,200,000	544	11,961,000	…	…	109
7	2,106,000	509	10,724,000	…	…	102
8	1,967,000	525	10,328,000	…	…	105
9	1,944,000	515	10,004,000	…	…	102
10	1,793,000	499	8,939,000	…	…	98
11	1,780,000	515	9,159,000	…	…	101
12	1,763,000	537	9,472,000	…	…	104
13	1,700,000	532	9,048,000	…	…	103
14	1,683,000	527	8,876,000	…	…	101
15	1,660,000	469	7,779,000	…	…	90
16	1,697,000	514	8,721,000	…	…	98
17	1,702,000	532	9,062,000	…	…	101
18	1,684,000	507	8,546,000	…	…	96
19	1,669,000	522	8,705,000	…	…	99
20	1,624,000	543	8,815,000	1,596,000	8,658,000	102
21	1,621,000	522	8,466,000	1,592,000	8,309,000	98
22	1,625,000	522	8,478,000	1,580,000	8,239,000	98
23	1,574,000	533	8,397,000	1,526,000	8,133,000	101
24	1,579,000	540	8,519,000	1,524,000	8,210,000	102
25	1,597,000	539	8,603,000	1,522,000	8,182,000	102
26	1,573,000	536	8,435,000	1,474,000	7,882,000	101
27 (見込み)	1,505,000	531	7,988,000	1,406,000	7,444,000	1) 100

資料：農林水産省統計部『作物統計』

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である（以下同じ。）。

2 10 a 当たり（見込み）収量及び（見込み）収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

3 主食用作付（見込み）面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積（平成27年10月15日現在）を除いた面積（見込み）である（以下同じ。）。

4 1)は、全国農業地域の農家等が使用しているふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでのふるい目幅（北海道、東北及び北陸は1.85mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80mm、四国及び沖縄は1.75mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。なお、平成26年産までは1.70mmのふるい目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

5 「…」は、事実不詳又は調査を欠くことを示している。

水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況、10a 当たり収量及び収穫量（子実用）

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別された玄米の重量としている（21ページ【参考1】参照。）。

農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別10a 当たり収量及び収穫量（子実用）の概数値を示すと次のとおりである。

表1 ふるい目幅別重量分布状況の推移

年 産	計	単位：%					
		1.70 ～1.75mm	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
平成18年産	100.0	0.9	1.3	2.2	3.5	19.2	72.9
19	100.0	0.7	1.1	1.8	3.0	17.9	75.5
20	100.0	0.9	1.3	2.1	3.0	16.5	76.2
21	100.0	0.8	1.3	2.1	3.2	17.4	75.2
22	100.0	0.6	1.0	1.6	2.3	13.2	81.3
23	100.0	0.9	1.4	2.2	3.1	16.6	75.8
24	100.0	0.6	1.0	1.5	2.2	13.0	81.7
25	100.0	0.8	1.3	1.9	2.7	14.5	78.8
26	100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	14.7	78.4
27（概数値）	100.0	0.8	1.4	2.0	2.8	15.5	77.5
1) 平均値	100.0	0.7	1.2	1.8	2.6	14.4	79.3
対平均差	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	1.1	△ 1.8

注：1 1)は、直近5か年の重量割合の平均である（以下同じ。）。

2 未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる（以下同じ。）。

表2 ふるい目幅別10a 当たり収量及び収穫量（子実用）の推移

年 産		単位：%					
		1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
平成18年産	10a 当たり収量 (kg)	507	502	496	485	467	370
19	10a 当たり収量 (kg)	522	518	513	503	488	394
20	10a 当たり収量 (kg)	543	538	531	520	503	414
21	10a 当たり収量 (kg)	522	518	511	500	483	393
22	10a 当たり収量 (kg)	522	519	514	505	493	424
23	10a 当たり収量 (kg)	533	528	521	509	492	404
24	10a 当たり収量 (kg)	540	537	531	523	511	441
	収穫量 (t)	8,519,000	8,468,000	8,383,000	8,255,000	8,067,000	6,960,000
25	10a 当たり収量 (kg)	539	535	528	517	503	425
	収穫量 (t)	8,603,000	8,534,000	8,422,000	8,259,000	8,027,000	6,779,000
26	10a 当たり収量 (kg)	536	532	524	513	499	420
	収穫量 (t)	8,435,000	8,368,000	8,249,000	8,081,000	7,853,000	6,613,000
27 （概数値）	10a 当たり収量 (kg)	531	527	519	509	494	412
	収穫量 (t)	7,988,000	7,924,000	7,812,000	7,653,000	7,429,000	6,191,000
	対前年比 (%)	95	95	95	95	95	94

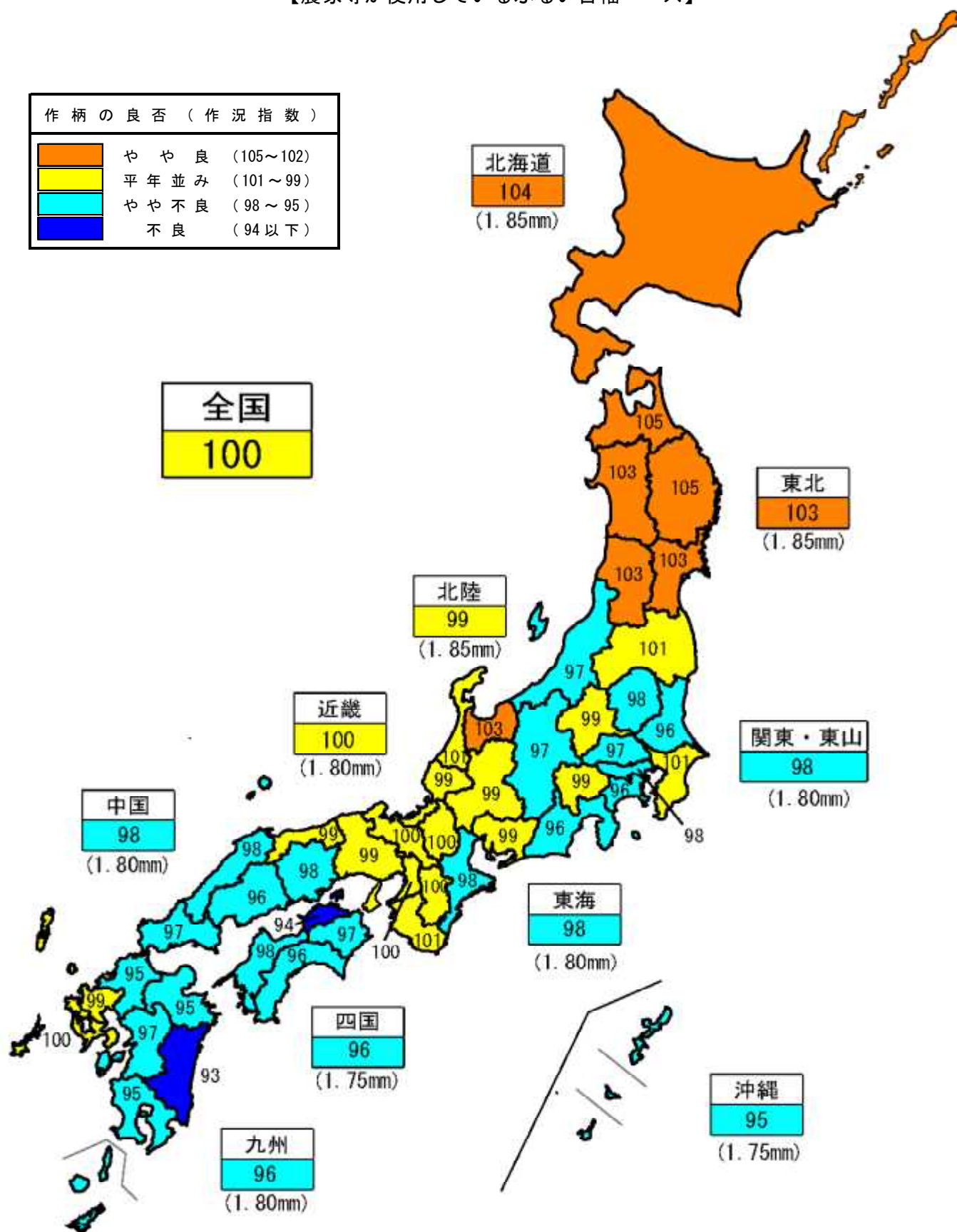
注：1 ふるい目幅別の収穫量（子実用）については、平成24年産より集計・公表を行っている。

2 ふるい目幅別の10a 当たり収量とは、全国の10a 当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

3 ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、全国の予想収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

図2 全国農業地域・都道府県別作況指数（10月15日現在）

【農家等が使用しているふるい目幅ベース】



注：1 作況指数は、全国農業地域において農家等が使用しているふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでのふるいの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80mm、四国及び沖縄は1.75mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

2 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通期栽培を合算したものである。また、沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県の作況指数の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量を用いた。

【調査結果】

1 平成27年産水稻の作付面積（子実用）は150万5,000haで、前年産に比べ6万8,000ha減少した。

また、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた主食用作付見込面積は140万6,000haで、前年産に比べ6万8,000haの減少が見込まれる。（表3参照）

2 10月15日現在における水稻の地域別の作柄は、北海道及び東北では、一時低温の時期はあったものの、生育期間を通じておおむね天候に恵まれたことにより、全もみ数は北海道を除いて平年を上回り、登熟もおおむね順調であったことから、北海道はやや良の559kg（作柄が良かった前年産に比べ18kg減少）、東北はやや良の579kg（同6kg減少）が見込まれる。

関東から近畿では、8月中旬までは高温・多照傾向で推移したことから、全もみ数は平年並みないしやや多くなったものの、登熟は8月中旬以降の低温・日照不足や台風等による影響がみられたことから、北陸は平年並みの531kg（前年産に比べ5kg減少）、関東・東山はやや不良の526kg（同18kg減少）、東海はやや不良の494kg（同3kg減少）、近畿は平年並みの508kg（同11kg増加）が見込まれる。

中国、四国及び九州は、6月以降の断続的な低温・日照不足や台風等の影響により、全もみ数が平年並みないし少なく、登熟も平年を下回って推移しているため、中国はやや不良の505kg（作柄が悪かった前年産に比べ10kg増加）、四国はやや不良の466kg（同3kg増加）、九州はやや不良の484kg（同2kg増加）が見込まれる。

この結果、全国の10a当たり予想収量は平年並みの531kg（前年産に比べ5kg減少）が見込まれる。（表3参照）

3 以上の結果、予想収穫量（子実用）は798万8,000t（前年産に比べ44万7,000t減少）が見込まれる。このうち、主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は、744万4,000t（前年産に比べ43万8,000t減少）が見込まれる。（表3参照）

4 10月15日現在におけるふるい目幅別重量分布状況について、地域別にみると、全もみ数が少なく登熟期の天候に恵まれた北海道では、1.85mm未満の玄米の重量割合は2.8%と直近5か年平均値に比べ0.1ポイント下回っているが、それ以外の地域では、8月中旬以降の低温・日照不足等により登熟が平年を下回って推移していることと見込まれることから、1.85mm未満の玄米の重量割合は直近5か年平均値に比べ上回っている。（表4参照）

5 10月15日現在における玄米品位の状況について、全国では、整粒の割合が72.2%と前年産に比べ2.3ポイント多くなっていると同時に、昨年は北海道で発生が多かった青死米等の割合は、3.0%と前年産に比べ1.3ポイント少なくなっている。（表7参照）

表3 平成27年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）

全国農業地域	作付面積（子実用）			10a当たり予想収量		予想収穫量（子実用）			参 考		
	実 数 ①	前年産との比較		実 数 ②	前年産 との比較 対 差	実 数 ③=①×②	前年産との比較		主食用作付 見込面積 ④	予想収穫量 (主食用) ⑤=④×②	作況指数
		対 差	対 比				対 差	対 比			
	ha	ha	%	kg	kg	t	t	%	ha	t	
全 国	1,505,000	△ 68,000	96	531	△ 5	7,988,000	△ 447,000	95	1,406,000	7,444,000	100
北 海 道	107,800	△ 3,200	97	559	△ 18	602,600	△ 37,900	94	100,100	559,600	104
東 北	381,300	△ 21,200	95	579	△ 6	2,209,000	△ 145,000	94	339,500	1,964,000	103
北 陸	207,800	△ 4,700	98	531	△ 5	1,104,000	△ 35,000	97	184,100	977,800	99
関東・東山	275,100	△ 17,700	94	526	△ 18	1,447,000	△ 147,000	91	264,200	1,390,000	98
東 海	95,200	△ 4,500	95	494	△ 3	470,400	△ 24,700	95	93,100	459,900	98
近 畿	105,800	△ 2,200	98	508	11	537,200	100	100	101,900	517,700	100
中 国	108,100	△ 4,500	96	505	10	546,000	△ 10,900	98	104,100	525,500	98
四 国	52,100	△ 3,200	94	466	3	242,800	△ 13,400	95	51,700	241,000	96
九 州	170,700	△ 7,500	96	484	2	826,500	△ 32,300	96	166,300	805,800	96
沖 縄	788	△ 72	92	294	33	2,320	80	104	788	2,320	95

- 注：1 10a 当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
 2 予想収穫量（子実用）及び予想収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
 3 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の10a 当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10a 当たり収量と第二期稲の10a 当たり平年収量を用いた。
 4 作況指数は、全国農業地域の農家等が使用しているふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでのふるいの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80mm、四国及び沖縄は1.75mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

表4 ふるい目幅別重量分布状況（10月15日現在）

全国 農業地域	区 分	計	1.70～ 1.75mm	1.75～ 1.80	1.80～ 1.85	1.85～ 1.90	1.90～ 2.00	2.00mm 以 上
全 国	重量割合（％）	100.0	0.8	1.4	2.0	2.8	15.5	77.5
	平 均 値	100.0	0.7	1.2	1.8	2.6	14.4	79.3
	対 平 均 差	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	1.1	△ 1.8
北 海 道 (1.85mm)	重量割合（％）	100.0	0.6	1.0	1.2	1.7	10.1	85.4
	平 均 値	100.0	0.6	1.0	1.3	1.8	10.2	85.1
	対 平 均 差	0.0	0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1	0.3
東 北 (1.85mm)	重量割合（％）	100.0	0.6	1.1	1.6	2.2	12.3	82.2
	平 均 値	100.0	0.5	0.9	1.4	2.0	11.6	83.6
	対 平 均 差	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.7	△ 1.4
北 陸 (1.85mm)	重量割合（％）	100.0	0.6	1.1	1.6	2.4	15.3	79.0
	平 均 値	100.0	0.5	1.0	1.4	1.9	12.6	82.6
	対 平 均 差	0.0	0.1	0.1	0.2	0.5	2.7	△ 3.6
関東・東山 (1.80mm)	重量割合（％）	100.0	1.0	1.4	2.2	3.4	20.0	72.0
	平 均 値	100.0	0.7	1.3	2.3	3.2	18.7	73.8
	対 平 均 差	0.0	0.3	0.1	△ 0.1	0.2	1.3	△ 1.8
東 海 (1.80mm)	重量割合（％）	100.0	0.7	1.2	1.7	2.4	14.0	80.0
	平 均 値	100.0	0.8	1.1	1.6	2.5	12.7	81.3
	対 平 均 差	0.0	△ 0.1	0.1	0.1	△ 0.1	1.3	△ 1.3
近 畿 (1.80mm)	重量割合（％）	100.0	1.0	1.6	2.3	2.8	14.1	78.2
	平 均 値	100.0	0.9	1.5	2.1	2.6	13.5	79.4
	対 平 均 差	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.6	△ 1.2
中 国 (1.80mm)	重量割合（％）	100.0	0.9	1.5	2.3	2.5	14.3	78.5
	平 均 値	100.0	0.8	1.3	1.8	2.3	12.7	81.1
	対 平 均 差	0.0	0.1	0.2	0.5	0.2	1.6	△ 2.6
四 国 (1.75mm)	重量割合（％）	100.0	1.0	1.9	2.7	3.5	18.4	72.5
	平 均 値	100.0	1.1	1.8	2.5	3.8	18.1	72.7
	対 平 均 差	0.0	△ 0.1	0.1	0.2	△ 0.3	0.3	△ 0.2
九 州 (1.80mm)	重量割合（％）	100.0	1.4	2.4	3.2	4.5	22.0	66.5
	平 均 値	100.0	1.2	2.0	2.9	4.3	20.6	69.0
	対 平 均 差	0.0	0.2	0.4	0.3	0.2	1.4	△ 2.5

注：1 ふるい目幅別重量分布状況は、10月15日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆のデータにより取りまとめたものであり、次回公表において数値が変動することがある（以下同じ）。

2 全国農業地域名の下に記載されているふるい目幅は、全国農業地域の農家等が使用しているふるい目幅分布において、大きいものから数えて9割を占めるふるい目幅である（以下同じ）。

表5 ふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量（子実用）（10月15日現在）

全国 農業地域	区 分	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
	収穫量（子実用）（t）	7,988,000	7,924,000	7,812,000	7,653,000	7,429,000	6,191,000
北 海 道 (1.85mm)	10 a 当たり収量（kg）	559	556	550	543	534	477
	収穫量（子実用）（t）	602,600	599,000	593,000	585,700	575,500	514,600
東 北 (1.85mm)	10 a 当たり収量（kg）	579	576	569	560	547	476
	収穫量（子実用）（t）	2,209,000	2,196,000	2,171,000	2,136,000	2,088,000	1,816,000
北 陸 (1.85mm)	10 a 当たり収量（kg）	531	528	522	513	501	419
	収穫量（子実用）（t）	1,104,000	1,097,000	1,085,000	1,068,000	1,041,000	872,200
関東・東山 (1.80mm)	10 a 当たり収量（kg）	526	521	513	502	484	379
	収穫量（子実用）（t）	1,447,000	1,433,000	1,412,000	1,380,000	1,331,000	1,042,000
東 海 (1.80mm)	10 a 当たり収量（kg）	494	491	485	476	464	395
	収穫量（子実用）（t）	470,400	467,100	461,500	453,500	442,200	376,300
近 畿 (1.80mm)	10 a 当たり収量（kg）	508	503	495	483	469	397
	収穫量（子実用）（t）	537,200	531,800	523,200	510,900	495,800	420,100
中 国 (1.80mm)	10 a 当たり収量（kg）	505	500	493	481	469	396
	収穫量（子実用）（t）	546,000	541,100	532,900	520,300	506,700	428,600
四 国 (1.75mm)	10 a 当たり収量（kg）	466	461	452	440	424	338
	収穫量（子実用）（t）	242,800	240,400	235,800	229,200	220,700	176,000
九 州 (1.80mm)	10 a 当たり収量（kg）	484	477	466	450	428	322
	収穫量（子実用）（t）	826,500	814,900	795,100	768,600	731,500	549,600

注：1 ふるい目幅別の10a当たり収量とは、全国及び農業地域別の10a当たり予想収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、全国及び農業地域別の予想収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

表6 平成27年産水稻の作況標本筆の10a 当たり玄米重の分布状況（10月15日現在）

全 国 農業地域	区 分	計	単位：%									
			100kg未満	100 ～200	200 ～300	300 ～400	400 ～500	500 ～600	600 ～700	700 ～800	800kg以上	
全 国	筆数割合	100.0	0.1	0.2	0.8	6.4	25.3	44.3	20.3	2.5	0.1	
	前年値	100.0	0.1	0.3	0.8	5.5	25.6	44.0	21.1	2.5	0.1	
	対前年差	0.0	0.0	△ 0.1	0.0	0.9	△ 0.3	0.3	△ 0.8	0.0	0.0	
北 海 道	筆数割合	100.0	0.2	-	-	1.1	17.1	49.8	30.2	1.4	0.2	
	前年値	100.0	-	-	-	0.3	10.5	48.8	37.9	2.5	-	
	対前年差	0.0	0.2	-	-	0.8	6.6	1.0	△ 7.7	△ 1.1	0.2	
東 北	筆数割合	100.0	-	0.0	0.2	1.6	10.7	42.5	37.9	6.8	0.3	
	前年値	100.0	0.0	0.0	0.1	1.9	8.6	38.0	43.6	7.6	0.2	
	対前年差	0.0	0.0	0.0	0.1	△ 0.3	2.1	4.5	△ 5.7	△ 0.8	0.1	
北 陸	筆数割合	100.0	0.5	0.6	0.5	4.2	19.7	51.3	20.9	2.2	0.1	
	前年値	100.0	0.1	-	0.5	3.9	21.8	51.4	21.4	0.9	-	
	対前年差	0.0	0.4	0.6	0.0	0.3	△ 2.1	△ 0.1	△ 0.5	1.3	0.1	
関東・東山	筆数割合	100.0	-	0.1	0.3	5.0	23.0	45.2	22.6	3.5	0.3	
	前年値	100.0	-	0.1	1.0	3.9	18.8	46.5	25.6	4.0	0.1	
	対前年差	0.0	-	0.0	△ 0.7	1.1	4.2	△ 1.3	△ 3.0	△ 0.5	0.2	
東 海	筆数割合	100.0	-	0.5	0.6	6.5	35.1	45.8	11.5	-	-	
	前年値	100.0	-	0.1	0.4	5.8	37.8	48.2	7.6	0.1	-	
	対前年差	0.0	-	0.4	0.2	0.7	△ 2.7	△ 2.4	3.9	△ 0.1	-	
近 畿	筆数割合	100.0	-	0.3	1.3	5.3	31.1	47.9	13.8	0.3	-	
	前年値	100.0	0.1	0.6	0.7	5.7	34.5	49.2	9.2	-	-	
	対前年差	0.0	△ 0.1	△ 0.3	0.6	△ 0.4	△ 3.4	△ 1.3	4.6	0.3	-	
中 国	筆数割合	100.0	-	0.2	1.1	7.9	32.9	43.9	12.6	1.3	0.1	
	前年値	100.0	0.5	1.4	1.2	7.9	34.9	40.5	13.0	0.5	0.1	
	対前年差	0.0	△ 0.5	△ 1.2	△ 0.1	0.0	△ 2.0	3.4	△ 0.4	0.8	0.0	
四 国	筆数割合	100.0	0.2	0.2	2.6	16.0	40.8	35.1	5.1	-	-	
	前年値	100.0	-	0.8	2.3	13.4	44.3	36.3	2.6	0.3	-	
	対前年差	0.0	0.2	△ 0.6	0.3	2.6	△ 3.5	△ 1.2	2.5	△ 0.3	-	
九 州	筆数割合	100.0	0.1	0.4	1.8	14.3	38.0	38.6	6.7	0.1	-	
	前年値	100.0	0.3	0.3	1.6	10.4	40.1	41.5	5.5	0.3	-	
	対前年差	0.0	△ 0.2	0.1	0.2	3.9	△ 2.1	△ 2.9	1.2	△ 0.2	-	

注：1 10a 当たり玄米重は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
 2 10月15日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆のデータにより取りまとめたものであり、次回公表において数値が変動することがある。

図3 平成27年産水稻の作況標本筆の10a 当たり玄米重の分布状況（10月15日現在、全国）

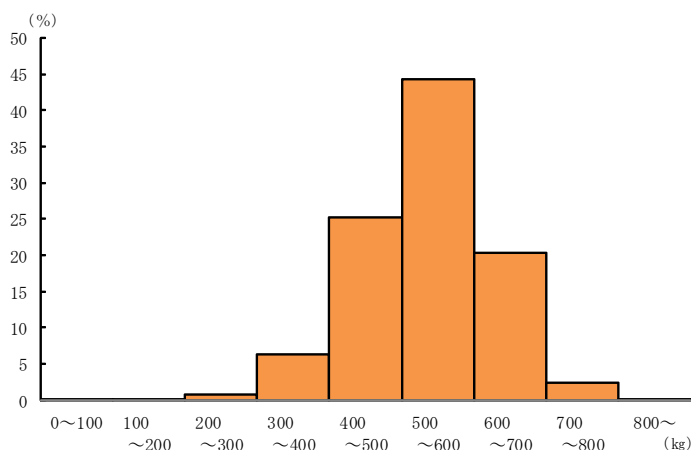


表7 平成27年産水稻の玄米品位の状況（10月15日現在、全国）

区 分	整 粒	未熟粒	単位：%			(参 考) 青死米等 ③=①+②
			乳白粒・腹白粒 ①	被害粒	死米・着色粒 ②	
重量割合	72.2	23.0	2.2	4.8	0.8	3.0
前年値	69.9	25.9	3.3	4.2	1.0	4.3
対前年差	2.3	△2.9	△1.1	0.6	△0.2	△1.3

注：1 10月15日現在までに刈取り・調製が終了した作況基準筆等の刈取試料を穀粒判別器を用いて品位分析したものである。
 2 青死米等とは、乳白粒（心白粒を含む）、腹白粒、死米及び着色粒の合計である。

【統計表】

統計表一覧

ページ

- 1 平成27年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）・・・10
- 2 平成27年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況（10月15日現在）・・・12
- 3 平成27年産水稻玄米のふるい目幅別10 a 当たり収量（10月15日現在）・・・14
- 4 平成27年産水稻玄米のふるい目幅別収穫量（子実用）（10月15日現在）・・・15
- 5 平成27年産水稻の作況標本筆の10 a 当たり玄米重の分布状況
（10月15日現在）・・・16
- 6 平成27年産水稻の作柄表示地帯別作況指数（10月15日現在）・・・17
- 7 平成27年産水稻の玄米品位の状況（10月15日現在）・・・19
- 8 平成27年産水稻の刈取期及び刈取済面積割合（10月15日現在）・・・20

利用上の注意

- 1 統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		7 桁以上 (100万)	6 桁 (10万)	5 桁 (万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100)
四捨五入する桁数（下から）		3 桁	2 桁		1 桁	四捨五入 しない
例	四捨五入する前（原数）	1,234,567	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した後（統計数値）	1,235,000	123,500	12,300	1,230	123

- 2 表中に用いた記号は以下のとおりである。
「－」：事実のないもの
「…」：事実不詳又は調査を欠くもの
「△」：負数又は減少したもの

1 平成27年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）

全 国 都 道 府 県	作付面積（子実用）			10a当たり 予想収量 ②	（参考）農家等が使用している ふるい目幅で選別		
	実数 ①	前年産との比較			10a当たり 予想収量 ③	10a当たり 平年収量 ④	作況 指数 ⑤=③/④
		対差	対比				
	ha	ha	%	kg	kg	kg	
全 国 (1)	1,505,000	△ 68,000	96	531	516	517	100
北 海 道 (2)	107,800	△ 3,200	97	559	543	522	104
青 森 (3)	43,500	△ 5,100	90	616	597	566	105
岩 手 (4)	51,400	△ 3,600	93	560	545	518	105
宮 城 (5)	66,700	△ 4,400	94	547	531	516	103
秋 田 (6)	88,700	△ 3,000	97	589	572	553	103
山 形 (7)	65,300	△ 2,600	96	614	594	578	103
福 島 (8)	65,600	△ 2,600	96	557	531	526	101
茨 城 (9)	70,300	△ 4,400	94	505	496	515	96
栃 木 (10)	58,300	△ 5,600	91	531	518	528	98
群 馬 (11)	15,800	△ 1,500	91	489	474	479	99
埼 玉 (12)	32,200	△ 2,200	94	480	461	476	97
千 葉 (13)	57,000	△ 3,200	95	539	529	525	101
東 京 (14)	156	△ 3	98	405	392	402	98
神 奈 川 (15)	3,130	△ 10	100	485	457	478	96
新 潟 (16)	117,500	△ 2,600	98	527	509	523	97
富 山 (17)	38,600	△ 900	98	559	542	524	103
石 川 (18)	26,100	△ 500	98	522	509	504	101
福 井 (19)	25,600	△ 600	98	518	495	500	99
山 梨 (20)	5,030	△ 60	99	542	526	533	99
長 野 (21)	33,200	△ 700	98	604	590	609	97
岐 阜 (22)	22,500	△ 1,600	93	481	471	478	99
静 岡 (23)	16,300	△ 500	97	504	494	513	96
愛 知 (24)	28,100	△ 1,200	96	503	495	499	99
三 重 (25)	28,300	△ 1,200	96	490	479	488	98
滋 賀 (26)	32,200	△ 800	98	518	504	506	100
京 都 (27)	15,000	△ 200	99	510	500	501	100
大 阪 (28)	5,440	△ 110	98	495	477	479	100
兵 庫 (29)	37,300	△ 600	98	501	488	491	99
奈 良 (30)	8,870	△ 190	98	515	501	499	100
和 歌 山 (31)	6,900	△ 330	95	499	488	484	101
鳥 取 (32)	12,900	△ 700	95	512	501	504	99
島 根 (33)	17,900	△ 700	96	503	492	500	98
岡 山 (34)	31,000	△ 1,600	95	512	503	515	98
広 島 (35)	24,700	△ 900	96	507	495	513	96
山 口 (36)	21,600	△ 700	97	491	478	493	97
徳 島 (37)	11,900	△ 1,300	90	457	453	469	97
早期栽培 (38)	4,580	△ 620	88	450	447	459	97
普通栽培 (39)	7,340	△ 680	92	461	456	475	96
香 川 (40)	13,600	△ 800	94	470	465	493	94
愛 媛 (41)	14,600	△ 400	97	488	482	493	98
高 知 (42)	12,000	△ 700	94	444	440	456	96
早期栽培 (43)	6,750	△ 650	91	462	459	478	96
普通栽培 (44)	5,290	△ 40	99	420	415	426	97
福 岡 (45)	36,500	△ 1,000	97	480	459	481	95
佐 賀 (46)	25,300	△ 300	99	512	496	502	99
長 崎 (47)	12,500	△ 700	95	479	460	462	100
熊 本 (48)	35,600	△ 1,900	95	500	483	499	97
大 分 (49)	21,900	△ 1,000	96	478	458	481	95
宮 崎 (50)	17,300	△ 1,300	93	464	448	484	93
早期栽培 (51)	7,090	△ 730	91	411	399	471	85
普通栽培 (52)	10,200	△ 600	94	501	482	493	98
鹿 児 島 (53)	21,600	△ 1,300	94	458	445	470	95
早期栽培 (54)	4,910	△ 410	92	396	383	435	88
普通栽培 (55)	16,700	△ 900	95	476	463	481	96
沖 縄 (56)	788	△ 72	92	294	291	305	95
第一期稲 (57)	556	△ 30	95	342	341	369	92
第二期稲 (58)	232	△ 42	85

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
2 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需米等）の作付面積（平成27年10月15日現在）を除いた面積（見込み）である。
3 （参考）の農家等が使用しているふるい目幅で選別された③10a当たり予想収量、④10a当たり平年収量及び⑤作況指数については、全国農業地域の農家等が使用しているふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでのふるいの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80mm、四国及び沖縄は1.75mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

予想収穫量（子実用）			参 考		
実 数 ⑥=①×②	前 年 産 と の 比 較		主 食 用 作 付 見 込 面 積 ⑦	予 想 収 穫 量 （ 主 食 用 ） ⑧=⑦×②	
	対 差	対 比			
t	t	%	ha	t	
7,988,000	△ 447,000	95	1,406,000	7,444,000	(1)
602,600	△ 37,900	94	100,100	559,600	(2)
268,000	△ 28,500	90	37,300	229,800	(3)
287,800	△ 21,300	93	48,100	269,400	(4)
364,800	△ 32,600	92	63,700	348,400	(5)
522,400	△ 24,100	96	71,200	419,400	(6)
400,900	△ 22,100	95	57,700	354,300	(7)
365,400	△ 16,500	96	61,500	342,600	(8)
355,000	△ 54,400	87	68,400	345,400	(9)
309,600	△ 34,200	90	54,100	287,300	(10)
77,300	△ 9,200	89	14,400	70,400	(11)
154,600	△ 17,700	90	31,700	152,200	(12)
307,200	△ 28,700	91	55,200	297,500	(13)
632	△ 29	96	156	632	(14)
15,200	△ 500	97	3,130	15,200	(15)
619,200	△ 37,700	94	102,400	539,600	(16)
215,800	2,100	101	34,200	191,200	(17)
136,200	1,100	101	23,600	123,200	(18)
132,600	△ 1,000	99	23,900	123,800	(19)
27,300	△ 500	98	4,980	27,000	(20)
200,500	△ 1,900	99	32,200	194,500	(21)
108,200	△ 8,000	93	22,100	106,300	(22)
82,200	△ 4,200	95	16,100	81,100	(23)
141,300	△ 6,400	96	27,200	136,800	(24)
138,700	△ 6,100	96	27,700	135,700	(25)
166,800	1,100	101	30,600	158,500	(26)
76,500	△ 600	99	14,400	73,400	(27)
26,900	△ 600	98	5,440	26,900	(28)
186,900	2,300	101	35,700	178,900	(29)
45,700	△ 900	98	8,850	45,600	(30)
34,400	△ 1,200	97	6,900	34,400	(31)
66,000	△ 1,700	97	12,400	63,500	(32)
90,000	△ 3,600	96	17,500	88,000	(33)
158,700	△ 2,000	99	29,600	151,600	(34)
125,200	△ 2,000	98	24,000	121,700	(35)
106,100	△ 1,600	99	20,500	100,700	(36)
54,400	△ 5,300	91	11,700	53,500	(37)
20,600	△ 2,700	88	(38)
33,800	△ 2,600	93	(39)
63,900	△ 3,500	95	13,500	63,500	(40)
71,200	△ 2,300	97	14,600	71,200	(41)
53,300	△ 2,300	96	11,900	52,800	(42)
31,200	△ 3,600	90	(43)
22,200	1,300	106	(44)
175,200	△ 4,100	98	35,900	172,300	(45)
129,500	6,600	105	25,000	128,000	(46)
59,900	△ 1,200	98	12,500	59,900	(47)
178,000	△ 9,500	95	34,300	171,500	(48)
104,700	△ 7,300	93	21,700	103,700	(49)
80,300	△ 10,100	89	16,100	74,700	(50)
29,100	△ 9,100	76	(51)
51,100	△ 1,300	98	(52)
98,900	△ 6,700	94	20,900	95,700	(53)
19,400	△ 4,800	80	(54)
79,500	△ 2,000	98	(55)
2,320	80	104	788	2,320	(56)
1,900	0	100	(57)
...	(58)

4 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付見込面積は、備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

5 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから「…」で示しており、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平均収量を用いた。

2 平成27年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況（10月15日現在）

全 国 都 道 府 県	ふるい目幅別重量分布状況						
	計	1.70 ～1.75mm	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
	%	%	%	%	%	%	%
全 国 (1)	100.0	0.8	1.4	2.0	2.8	15.5	77.5
北 海 道 (2)	100.0	0.6	1.0	1.2	1.7	10.1	85.4
青 森 (3)	100.0	0.7	1.1	1.3	1.7	9.4	85.8
岩 手 (4)	100.0	0.6	0.9	1.2	1.6	10.0	85.7
宮 城 (5)	100.0	0.6	0.9	1.5	2.0	11.4	83.6
秋 田 (6)	100.0	0.5	0.9	1.5	2.1	12.5	82.5
山 形 (7)	100.0	0.6	1.1	1.5	2.7	14.1	80.0
福 島 (8)	100.0	0.6	1.7	2.3	2.7	14.6	78.1
茨 城 (9)	100.0	0.6	1.2	1.5	2.5	16.5	77.7
栃 木 (10)	100.0	1.0	1.4	2.6	3.8	24.2	67.0
群 馬 (11)
埼 玉 (12)	100.0	1.5	2.4	3.5	5.0	27.1	60.5
千 葉 (13)	100.0	0.8	1.0	1.8	2.3	18.6	75.5
東 京 (14)	100.0	1.5	1.6	4.3	7.1	18.9	66.6
神 奈 川 (15)	100.0	2.9	2.8	5.5	7.7	21.1	60.0
新 潟 (16)	100.0	0.6	1.2	1.6	2.4	14.1	80.1
富 山 (17)	100.0	0.5	0.9	1.6	2.5	20.7	73.8
石 川 (18)	100.0	0.5	0.8	1.2	2.0	12.9	82.6
福 井 (19)	100.0	0.9	1.5	2.0	2.5	14.5	78.6
山 梨 (20)	100.0	1.2	1.8	2.0	3.6	18.0	73.4
長 野 (21)	100.0	0.8	1.5	1.9	2.9	15.5	77.4
岐 阜 (22)
静 岡 (23)	100.0	0.6	1.3	2.0	2.6	14.4	79.1
愛 知 (24)
三 重 (25)	100.0	0.9	1.3	1.8	2.7	13.3	80.0
滋 賀 (26)	100.0	0.9	1.8	2.4	2.7	14.9	77.3
京 都 (27)	100.0	0.7	1.3	1.5	1.8	10.2	84.5
大 阪 (28)	100.0	1.7	2.0	3.7	5.7	20.3	66.6
兵 庫 (29)	100.0	1.1	1.5	2.5	3.1	14.4	77.4
奈 良 (30)
和 歌 山 (31)	100.0	0.8	1.4	1.7	1.9	12.6	81.6
鳥 取 (32)	100.0	0.7	1.5	2.0	2.7	12.2	80.9
島 根 (33)	100.0	0.8	1.3	2.3	2.4	14.5	78.7
岡 山 (34)
広 島 (35)	100.0	0.8	1.5	1.9	2.1	13.6	80.1
山 口 (36)	100.0	1.1	1.5	2.6	2.7	15.4	76.7
徳 島 (37)	100.0	0.9	1.5	2.5	2.5	14.5	78.1
早 期 栽 培 (38)	100.0	0.7	1.0	1.8	1.9	12.0	82.6
普 通 栽 培 (39)	100.0	1.1	1.8	3.0	2.9	16.1	75.1
香 川 (40)	100.0	1.0	2.6	3.5	4.5	23.0	65.4
愛 媛 (41)	100.0	1.3	1.9	2.8	4.2	20.8	69.0
高 知 (42)	100.0	0.9	1.4	1.6	2.6	13.8	79.7
早 期 栽 培 (43)	100.0	0.7	0.9	1.1	1.9	11.3	84.1
普 通 栽 培 (44)	100.0	1.3	2.0	2.2	3.6	17.3	73.6
福 岡 (45)	100.0	1.6	2.7	3.5	4.4	19.9	67.9
佐 賀 (46)
長 崎 (47)	100.0	1.3	2.6	3.5	4.9	26.2	61.5
熊 本 (48)
大 分 (49)
宮 崎 (50)	100.0	1.3	2.1	2.8	5.0	28.8	60.0
早 期 栽 培 (51)	100.0	1.0	1.8	2.4	4.6	33.8	56.4
普 通 栽 培 (52)
鹿 児 島 (53)
早 期 栽 培 (54)	100.0	1.1	2.1	4.2	6.2	34.8	51.6
普 通 栽 培 (55)
沖 縄 (56)

注：1 ふるい目幅別重量分布状況は、10月15日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆のデータにより取りまとめ
たものであり、次回公表において数値が変動することがある（以下同じ。）。

2 10月15日現在で、各都道府県において設置された作況標本筆のおおむね80%以上でデータが得られた都道府県につ
いて調査結果を表章しており、それに満たない都道府県については「…」で示した（以下同じ。）。

対平均差							
計	1.70 ～1.75mm	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上	
ポ イ ント	ポ イ ント	ポ イ ント	ポ イ ント	ポ イ ント	ポ イ ント	ポ イ ント	ポ イ ント
0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	1.1	△ 1.8	(1)
0.0	0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1	0.3	(2)
0.0	0.1	0.3	0.0	0.1	0.2	△ 0.7	(3)
0.0	0.1	0.1	0.0	△ 0.1	△ 1.4	1.3	(4)
0.0	0.1	0.1	0.4	0.4	△ 1.1	0.1	(5)
0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.6	0.0	1.0	(6)
0.0	0.0	0.3	0.2	0.6	1.2	△ 2.3	(7)
0.0	0.3	0.7	0.9	0.9	3.9	△ 6.7	(8)
0.0	0.3	△ 0.2	△ 0.7	△ 0.6	△ 1.0	2.2	(9)
0.0	0.1	0.3	0.3	0.9	4.2	△ 5.8	(10)
...	(11)
0.0	0.3	0.6	0.5	1.0	2.8	△ 5.2	(12)
0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.5	0.0	1.0	(13)
0.0	0.5	0.0	1.6	3.0	△ 0.8	△ 4.3	(14)
0.0	1.3	1.3	2.4	4.0	2.1	△ 11.1	(15)
0.0	0.1	0.2	0.1	0.5	2.2	△ 3.1	(16)
0.0	0.1	0.2	0.5	0.7	6.9	△ 8.4	(17)
0.0	△ 0.1	△ 0.1	0.0	0.1	1.6	△ 1.5	(18)
0.0	0.2	0.3	0.4	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.4	(19)
0.0	0.2	0.2	△ 0.1	0.4	0.0	△ 0.7	(20)
0.0	0.1	0.2	0.4	0.3	1.9	△ 2.9	(21)
...	(22)
0.0	0.1	0.2	0.4	0.4	2.1	△ 3.2	(23)
...	(24)
0.0	△ 0.2	△ 0.1	0.0	△ 0.2	△ 0.3	0.8	(25)
0.0	0.0	0.3	0.4	0.2	1.9	△ 2.8	(26)
0.0	0.1	0.2	0.1	0.2	1.2	△ 1.8	(27)
0.0	0.5	0.2	△ 0.1	1.9	2.8	△ 5.3	(28)
0.0	0.1	0.0	0.1	0.2	△ 1.2	0.8	(29)
...	(30)
0.0	△ 0.2	0.0	△ 0.1	△ 0.5	△ 0.5	1.3	(31)
0.0	△ 0.1	0.3	0.4	0.3	1.3	△ 2.2	(32)
0.0	0.1	0.3	0.7	0.5	3.6	△ 5.2	(33)
...	(34)
0.0	0.1	0.3	0.3	0.1	2.3	△ 3.1	(35)
0.0	0.2	0.0	0.6	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.3	(36)
0.0	△ 0.2	△ 0.2	0.1	△ 0.6	0.2	0.7	(37)
0.0	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.9	△ 2.7	5.0	(38)
0.0	0.0	0.1	0.5	△ 0.3	2.0	△ 2.3	(39)
0.0	△ 0.3	0.0	△ 0.1	△ 0.8	△ 2.5	3.7	(40)
0.0	0.2	0.2	0.4	0.6	3.2	△ 4.6	(41)
0.0	0.1	0.2	0.1	△ 0.2	0.0	△ 0.2	(42)
0.0	0.1	0.0	0.0	△ 0.4	△ 1.1	1.4	(43)
0.0	0.2	0.4	0.1	△ 0.1	1.3	△ 1.9	(44)
0.0	0.4	0.5	0.6	0.1	0.9	△ 2.5	(45)
...	(46)
0.0	0.0	0.4	0.2	△ 0.6	0.3	△ 0.3	(47)
...	(48)
...	(49)
0.0	0.2	0.4	0.4	1.2	8.6	△ 10.8	(50)
0.0	0.3	0.7	0.9	2.2	17.0	△ 21.1	(51)
...	(52)
...	(53)
0.0	0.2	0.8	2.0	2.4	11.3	△ 16.7	(54)
...	(55)
...	(56)

3 対平均差に用いた平均値は、直近5か年の重量割合の平均値である。

4 未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる（以下同じ。）。

3 平成27年産水稻玄米のふるい目幅別10a 当たり収量（10月15日現在）

単位：kg

全 国 都道府県	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上	
						2.00mm 以 上	2.00mm 以 上
全 国	531	527	519	509	494	412	412
北 海 道	559	556	550	543	534	477	477
青 森	616	612	605	597	586	529	529
岩 手	560	557	552	545	536	480	480
宮 城	547	544	539	531	520	457	457
秋 田	589	586	581	572	560	486	486
山 形	614	610	604	594	578	491	491
福 島	557	554	544	531	516	435	435
茨 城	505	502	496	488	476	392	392
栃 木	531	526	518	504	484	356	356
群 馬
埼 玉	480	473	461	444	420	290	290
千 葉	539	535	529	520	507	407	407
東 京	405	399	392	375	346	270	270
神 奈 川	485	471	457	431	393	291	291
新 潟	527	524	518	509	496	422	422
富 山	559	556	551	542	528	413	413
石 川	522	519	515	509	499	431	431
福 井	518	513	506	495	482	407	407
山 梨	542	535	526	515	495	398	398
長 野	604	599	590	579	561	467	467
岐 阜
静 岡	504	501	494	484	471	399	399
愛 知
三 重	490	486	479	470	457	392	392
滋 賀	518	513	504	492	478	400	400
京 都	510	506	500	492	483	431	431
大 阪	495	487	477	458	430	330	330
兵 庫	501	495	488	475	460	388	388
奈 良
和 歌 山	499	495	488	480	470	407	407
鳥 取	512	508	501	490	477	414	414
島 根	503	499	492	481	469	396	396
岡 山
広 島	507	503	495	486	475	406	406
山 口	491	486	478	465	452	377	377
徳 島	457	453	446	435	423	357	357
早 期 栽 培	450	447	442	434	426	372	372
普 通 栽 培	461	456	448	434	420	346	346
香 川	470	465	453	437	415	307	307
愛 媛	488	482	472	459	438	337	337
高 知	444	440	434	427	415	354	354
早 期 栽 培	462	459	455	450	441	389	389
普 通 栽 培	420	415	406	397	382	309	309
福 岡	480	472	459	443	421	326	326
佐 賀
長 崎	479	473	460	444	420	295	295
熊 本
大 分
宮 崎	464	458	448	435	412	278	278
早 期 栽 培	411	407	399	390	371	232	232
普 通 栽 培
鹿 児 島
早 期 栽 培	396	392	383	367	342	204	204
普 通 栽 培
沖 縄

注：ふるい目幅別の10a 当たり収量とは、都道府県の10a 当たり予想収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

4 平成27年産水稻玄米のふるい目幅別収穫量（子実用）（10月15日現在）

単位：t

全 国 都道府県						
	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
全 国	7,988,000	7,924,000	7,812,000	7,653,000	7,429,000	6,191,000
北 海 道	602,600	599,000	593,000	585,700	575,500	514,600
青 森	268,000	266,100	263,200	259,700	255,100	229,900
岩 手	287,800	286,100	283,500	280,000	275,400	246,600
宮 城	364,800	362,600	359,300	353,900	346,600	305,000
秋 田	522,400	519,800	515,100	507,300	496,300	431,000
山 形	400,900	398,500	394,100	388,100	377,200	320,700
福 島	365,400	363,200	357,000	348,600	338,700	285,400
茨 城	355,000	352,900	348,600	343,300	334,400	275,800
栃 木	309,600	306,500	302,200	294,100	282,400	207,400
群 馬
埼 玉	154,600	152,300	148,600	143,200	135,400	93,500
千 葉	307,200	304,700	301,700	296,100	289,100	231,900
東 京	632	623	612	585	540	421
神 奈 川	15,200	14,800	14,300	13,500	12,300	9,120
新 潟	619,200	615,500	608,100	598,100	583,300	496,000
富 山	215,800	214,700	212,800	209,300	203,900	159,300
石 川	136,200	135,500	134,400	132,800	130,100	112,500
福 井	132,600	131,400	129,400	126,800	123,500	104,200
山 梨	27,300	27,000	26,500	25,900	25,000	20,000
長 野	200,500	198,900	195,900	192,100	186,300	155,200
岐 阜
静 岡	82,200	81,700	80,600	79,000	76,900	65,000
愛 知
三 重	138,700	137,500	135,600	133,200	129,400	111,000
滋 賀	166,800	165,300	162,300	158,300	153,800	128,900
京 都	76,500	76,000	75,000	73,800	72,400	64,600
大 阪	26,900	26,400	25,900	24,900	23,400	17,900
兵 庫	186,900	184,800	182,000	177,400	171,600	144,700
奈 良
和 歌 山	34,400	34,100	33,600	33,100	32,400	28,100
鳥 取	66,000	65,500	64,500	63,200	61,400	53,400
島 根	90,000	89,300	88,100	86,000	83,900	70,800
岡 山
広 島	125,200	124,200	122,300	119,900	117,300	100,300
山 口	106,100	104,900	103,300	100,600	97,700	81,400
徳 島	54,400	53,900	53,100	51,700	50,400	42,500
早 期 栽 培	20,600	20,500	20,300	19,900	19,500	17,000
普 通 栽 培	33,800	33,400	32,800	31,800	30,800	25,400
香 川	63,900	63,300	61,600	59,400	56,500	41,800
愛 媛	71,200	70,300	68,900	66,900	63,900	49,100
高 知	53,300	52,800	52,100	51,200	49,800	42,500
早 期 栽 培	31,200	31,000	30,700	30,400	29,800	26,200
普 通 栽 培	22,200	21,900	21,500	21,000	20,200	16,300
福 岡	175,200	172,400	167,700	161,500	153,800	119,000
佐 賀
長 崎	59,900	59,100	57,600	55,500	52,500	36,800
熊 本
大 分
宮 崎	80,300	79,300	77,600	75,300	71,300	48,200
早 期 栽 培	29,100	28,800	28,300	27,600	26,200	16,400
普 通 栽 培
鹿 児 島
早 期 栽 培	19,400	19,200	18,800	18,000	16,800	10,000
普 通 栽 培
沖 縄

注：ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、都道府県別の予想収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

5 平成27年産水稻の作況標本筆の10a 当たり玄米重の分布状況（10月15日現在）

単位:%

全 国 ・ 都道府県	計	100kg未満	100 ～200	200 ～300	300 ～400	400 ～500	500 ～600	600 ～700	700 ～800	800kg以上
全 国	100.0	0.1	0.2	0.8	6.4	25.3	44.3	20.3	2.5	0.1
北 海 道	100.0	0.2	-	-	1.1	17.1	49.8	30.2	1.4	0.2
青 森	100.0	-	-	-	0.9	8.2	28.8	43.0	17.9	1.2
岩 手	100.0	-	-	0.3	2.7	13.9	49.6	31.7	1.8	-
宮 城	100.0	-	0.3	0.3	2.4	13.9	55.5	27.3	0.3	-
秋 田	100.0	-	-	-	0.8	7.6	46.9	42.1	2.6	-
山 形	100.0	-	-	0.3	0.9	5.6	25.9	51.1	15.6	0.6
福 島	100.0	-	-	0.3	2.4	16.0	47.9	30.7	2.7	-
茨 城	100.0	-	-	-	3.9	22.5	61.1	12.5	-	-
栃 木	100.0	-	0.4	0.8	2.0	21.2	54.4	20.4	0.8	-
群 馬
埼 玉	100.0	-	0.6	0.6	17.2	32.2	38.8	10.6	-	-
千 葉	100.0	-	-	-	3.1	23.1	46.9	26.5	0.4	-
東 京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神 奈 川	100.0	-	-	1.4	5.7	45.8	45.7	1.4	-	-
新 潟	100.0	1.2	1.2	0.4	6.0	18.6	50.6	19.4	2.6	-
富 山	100.0	-	0.4	-	1.1	12.2	51.5	31.1	3.3	0.4
石 川	100.0	-	-	0.9	4.4	24.5	51.0	17.9	1.3	-
福 井	100.0	-	-	0.9	3.9	26.1	53.0	15.2	0.9	-
山 梨	100.0	-	-	-	4.7	29.4	35.3	25.9	4.7	-
長 野	100.0	-	-	0.4	2.8	7.4	26.0	45.8	15.8	1.8
岐 阜
静 岡	100.0	-	-	1.1	7.8	31.8	40.3	19.0	-	-
愛 知
三 重	100.0	-	1.3	0.9	5.2	40.0	45.6	7.0	-	-
滋 賀	100.0	-	0.5	0.5	3.9	27.7	46.5	20.4	0.5	-
京 都	100.0	-	0.7	1.4	7.5	26.5	47.6	15.6	0.7	-
大 阪	100.0	-	-	-	2.1	53.3	34.0	10.6	-	-
兵 庫	100.0	-	-	1.4	5.4	36.9	43.2	13.1	-	-
奈 良
和 歌 山	100.0	-	-	2.0	7.0	32.0	52.0	7.0	-	-
鳥 取	100.0	-	-	-	6.0	31.3	47.3	14.7	0.7	-
島 根	100.0	-	1.0	1.5	7.7	34.9	37.4	14.4	2.6	0.5
岡 山
広 島	100.0	-	-	1.4	9.6	25.1	47.9	13.7	2.3	-
山 口	100.0	-	-	0.5	9.3	37.2	43.7	9.3	-	-
徳 島	100.0	-	-	4.0	10.7	52.6	30.0	2.7	-	-
香 川	100.0	-	-	2.0	13.3	42.7	35.3	6.7	-	-
愛 媛	100.0	-	0.7	0.7	13.9	31.3	45.1	8.3	-	-
高 知	100.0	0.6	-	3.6	25.0	36.8	31.0	3.0	-	-
福 岡	100.0	0.4	0.4	1.2	8.7	37.3	47.6	4.4	-	-
佐 賀
長 崎	100.0	-	-	-	14.7	36.7	45.3	3.3	-	-
熊 本
大 分
宮 崎	100.0	-	0.5	2.9	17.0	44.1	27.7	7.8	-	-
鹿 児 島
沖 縄	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注：1 10月15日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆のデータにより取りまとめたものであり、次回公表において数値が変動することがある。

2 東京及び沖縄については、作況標本筆を設置していないことから「-」で示した。

6 平成27年産水稻の作柄表示地帯別作況指数（10月15日現在）

【農家等が使用しているふるい目幅ベース】

都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	
北海道 (104)	石狩	106	群馬 (99)	中毛	99	
	南空知	106		北毛	98	
	北空知	103		東毛	99	
	上川	104	埼玉 (97)	東部	97	
	留萌	103		西部	97	
	渡島	101		千葉 (101)	京葉	100
	檜山	101	九十九里		101	
	後志	102	南房総		101	
	胆振	104	東京		-	98
	日高	103	神奈川 (96)	神奈川	-	96
オホーツク・十勝	111	新潟		99		
青森 (105)	青森	105		岩手	99	
岩手 (105)	津軽	105	新潟 (97)	下越	91	
	南部・下北	105		下越	99	
	北上川上流	105		中部	97	
	北上川下流	105		魚沼	97	
宮城 (103)	東部	106	富山 (103)	上越	102	
	北部	105		佐渡	99	
	南部	102		富山	-	103
	中部	102		石川	101	
秋田 (103)	北	103	石川 (101)	加能	100	
	中央	103		福井 (99)	嶺北	99
	南	103			嶺南	99
山形 (103)	村山	102	山梨 (99)	山梨	-	99
	最上	102		長野 (97)	長野	97
	置賜	102	東南		99	
	庄内	103	中北	96		
福島 (101)	中通り	101	岐阜 (99)	信濃	96	
	浜通り	102		西南濃	100	
	会津	100		中濃	98	
茨城 (96)	北	102		東濃	98	
	鹿行	100	飛騨	95		
	南部	100	静岡 (96)	東部	97	
	西部	86		西部	96	
栃木 (98)	北	99				
	中	97				
	南	97				

注： 全国農業地域の農家等が使用しているふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでのふるいの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80mm、四国及び沖縄は1.75mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

6 平成27年産水稻の作柄表示地帯別作況指数（10月15日現在）（続き）

【農家等が使用しているふるい目幅ベース】

都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数
愛知 (99)	尾張	99	高知 (96)	中東部	97
	西三河	99		西部	95
	東三河	99			
三重 (98)	北勢	98	福岡 (95)	福岡	98
	中勢	98		北東部	96
	南勢	98		筑後	95
	伊賀	98			
滋賀 (100)	湖南	100	佐賀 (99)	佐賀	99
	湖北	100		松浦	97
京都 (100)	南部	100	長崎 (100)	南部	100
	北部	99		北部	97
大阪 (100)	-	100		熊本 (97)	五島
			壱岐・対馬		101
兵庫 (99)	県南	100			県北
	県北	99		阿蘇	94
	淡路	98		県南	96
奈良 (100)	-	100	大分 (95)	天草	97
				北部	97
和歌山 (101)	-	101			湾岸
				南部	94
鳥取 (99)	東部	99	宮崎 (93)	日田	92
	西部	100		広域沿海	88
島根 (98)	出雲	98			広域霧島
	石見	99		西北山間	93
岡山 (98)	南部	98	鹿児島 (95)	薩摩半島	93
	中北部	97		出水薩摩	96
広島 (96)	南部	96			伊佐始良
	北部	97		大隅半島	94
山口 (97)	東部	98		熊毛・大島	80
	西部	97	沖縄 (95)	沖縄諸島	104
	長北	98		八重山	91
徳島 (97)	北部	96			
	南部	97			
香川 (94)	-	94			
愛媛 (98)	東予	98			
	中予	99			
	南予	97			

注：徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通期栽培を合算したものである。
また、沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県の作況指数の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量を用いた。

7 平成27年産水稻の玄米品位の状況（10月15日現在）

単位：％

全 国 農業地域	区 分	整 粒	未熟粒	乳白粒・腹白粒	被害粒	死米・着色粒	(参 考) 青死米等 ③=①+②
				①		②	
全 国	重量割合	72.2	23.0	2.2	4.8	0.8	3.0
	前年値	69.9	25.9	3.3	4.2	1.0	4.3
	対前年差	2.3	△2.9	△1.1	0.6	△0.2	△1.3
北 海 道	重量割合	70.4	24.3	2.4	5.3	1.1	3.5
	前年値	62.5	29.8	6.3	7.7	2.7	9.0
	対前年差	7.9	△5.5	△3.9	△2.4	△1.6	△5.5
東 北	重量割合	76.1	18.7	1.8	5.3	0.9	2.7
	前年値	72.9	22.5	2.0	4.6	0.9	2.9
	対前年差	3.2	△3.8	△0.2	0.7	0.0	△0.2
北 陸	重量割合	74.2	20.1	1.9	5.6	0.6	2.5
	前年値	75.0	22.0	4.6	2.9	0.7	5.3
	対前年差	△0.8	△1.9	△2.7	2.7	△0.1	△2.8
関 東・東 山	重量割合	73.0	22.1	2.3	5.0	0.8	3.1
	前年値	70.3	25.5	3.3	4.2	0.9	4.2
	対前年差	2.7	△3.4	△1.0	0.8	△0.1	△1.1
東 海	重量割合	71.2	24.6	2.7	4.2	0.8	3.5
	前年値	68.6	28.1	4.2	3.3	1.7	5.9
	対前年差	2.6	△3.5	△1.5	0.9	△0.9	△2.4
近 畿	重量割合	69.6	25.1	3.1	5.3	0.8	3.9
	前年値	66.8	28.6	4.3	4.6	1.2	5.5
	対前年差	2.8	△3.5	△1.2	0.7	△0.4	△1.6
中 国	重量割合	72.3	24.6	2.7	3.2	0.8	3.5
	前年値	69.6	27.9	2.3	2.6	1.1	3.4
	対前年差	2.7	△3.3	0.4	0.6	△0.3	0.1
四 国	重量割合	64.1	31.5	2.8	4.4	1.1	3.9
	前年値	61.8	34.1	4.0	4.0	1.2	5.2
	対前年差	2.3	△2.6	△1.2	0.4	△0.1	△1.3
九 州	重量割合	63.1	33.2	1.7	3.6	0.9	2.6
	前年値	66.5	29.6	1.4	3.9	0.3	1.7
	対前年差	△3.4	3.6	0.3	△0.3	0.6	0.9

注：1 10月15日現在までに刈取り・調製が終了した作況基準筆等の刈取試料を穀粒判別器を用いて品位分析したものであり、次回公表において数値が変動することがある。

2 当該品位分析は、全国農業地域の農家等が使用しているふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでのふるいの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80mm、四国及び沖縄は1.75mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。なお、九州には沖縄県のデータも含む。また、東北の前年値算出に当たっては、福島県のデータを除いて算出した。

3 青死米等とは、乳白粒（心白粒を含む。）、腹白粒、死米及び着色粒の合計である。

8 平成27年産水稻の刈取期及び刈取済面積割合（10月15日現在）

全 国 都道府県	刈 取 期								刈取済面積割合	
	始 期	最盛期	終 期	最盛期の比較		対平年差	対前年差			
				月 日	月 日			月 日	対平年差	対前年差
全 国	…	…	…	…	…	…	…	89	△	3
北 海 道	9. 20	9. 30	10. 11	6 日遅	5 日遅	99	△	1		
青 森	9. 24	10. 2	10. 13	2 日遅	2 日遅	98	△	2		
岩 手	9. 19	10. 3	10. 14	1 日遅	3 日遅	96		1		
宮 城	9. 19	9. 29	10. 10	1 日早	2 日遅	97	△	1		
秋 田	9. 23	10. 1	10. 13	1 日遅	2 日遅	97	△	1		
山 形	9. 20	10. 1	10. 11	1 日遅	1 日遅	98	△	1		
福 島	9. 27	10. 8	…	並 み	並 み	83	△	5		
茨 城	8. 30	9. 15	9. 28	2 日遅	1 日遅	100		0		
栃 木	9. 13	9. 21	…	並 み	1 日遅	94	△	1		
群 馬	9. 22	…	…	…	…	47	△	9		
埼 玉	9. 1	9. 28	…	5 日遅	4 日遅	82	△	10		
千 葉	8. 19	9. 5	9. 16	2 日遅	2 日遅	100		0		
東 京	9. 27	10. 4	…	1 日早	並 み	90	△	2		
神 奈 川	9. 15	9. 30	…	3 日早	4 日早	85	△	5		
新 潟	9. 8	9. 22	10. 3	1 日遅	1 日遅	99	△	1		
富 山	8. 27	9. 16	9. 29	並 み	1 日遅	100		0		
石 川	8. 25	9. 15	9. 29	2 日遅	2 日遅	99	△	1		
福 井	8. 23	9. 13	10. 3	2 日遅	1 日遅	100		0		
山 梨	9. 16	10. 2	…	3 日遅	2 日遅	90	△	2		
長 野	9. 17	10. 1	…	2 日遅	並 み	93	△	1		
岐 阜	8. 31	10. 4	…	2 日遅	1 日遅	77	△	2		
静 岡	8. 31	9. 21	…	並 み	並 み	88	△	3		
愛 知	8. 30	10. 5	…	1 日遅	1 日遅	70	△	2		
三 重	8. 22	9. 7	9. 23	4 日遅	2 日遅	100		0		
滋 賀	9. 6	9. 18	9. 29	1 日遅	1 日遅	100		0		
京 都	9. 9	9. 25	…	2 日遅	1 日遅	91	△	1		
大 阪	9. 17	10. 14	…	2 日遅	3 日遅	70	△	5		
兵 庫	9. 10	10. 1	…	6 日遅	2 日遅	79	△	5		
奈 良	9. 12	10. 15	…	1 日遅	3 日遅	55	△	3		
和 歌 山	8. 23	9. 19	10. 14	並 み	1 日早	96	△	1		
鳥 取	9. 17	9. 28	…	6 日遅	5 日遅	94	△	4		
島 根	9. 2	9. 22	10. 13	4 日遅	1 日遅	97	△	2		
岡 山	9. 13	10. 11	…	6 日遅	3 日遅	58	△	7		
広 島	9. 6	9. 30	…	6 日遅	3 日遅	91	△	6		
山 口	9. 11	9. 27	…	3 日遅	1 日遅	91	△	5		
徳 島	〔早期栽培〕	8. 11	8. 22	9. 3	3 日早	8 日早	100		0	
	〔普通栽培〕	8. 24	9. 12	10. 5	1 日遅	2 日早	99		2	
香 川	8. 25	10. 3	…	2 日遅	1 日遅	77	△	12		
愛 媛	8. 21	9. 27	…	4 日遅	2 日遅	86	△	8		
高 知	〔早期栽培〕	7. 30	8. 9	8. 23	6 日早	10 日早	100		0	
	〔普通栽培〕	9. 25	10. 8	…	3 日遅	1 日遅	90	△	2	
福 岡	9. 9	10. 6	…	3 日遅	1 日遅	77	△	10		
佐 賀	9. 1	10. 14	…	4 日遅	1 日遅	54	△	11		
長 崎	8. 26	10. 14	…	2 日遅	1 日早	55	△	10		
熊 本	8. 18	10. 11	…	3 日遅	1 日遅	54	△	13		
大 分	9. 22	…	…	…	…	41	△	10		
宮 崎	〔早期栽培〕	7. 27	8. 2	8. 13	2 日早	3 日早	100		0	
	〔普通栽培〕	10. 6	…	…	…	47	△	10		
鹿 児 島	〔早期栽培〕	7. 24	8. 6	8. 22	1 日早	5 日早	100		0	
	〔普通栽培〕	10. 8	…	…	…	38	△	14		
沖 縄	〔第一期稲〕	6. 8	6. 20	7. 9	7 日早	9 日早	100		0	
	〔第二期稲〕	…	…	…	…	-		-		

注：1 刈取期の始期とは刈取済面積割合が5%、最盛期は同50%、終期は同95%にそれぞれ達した期日である。

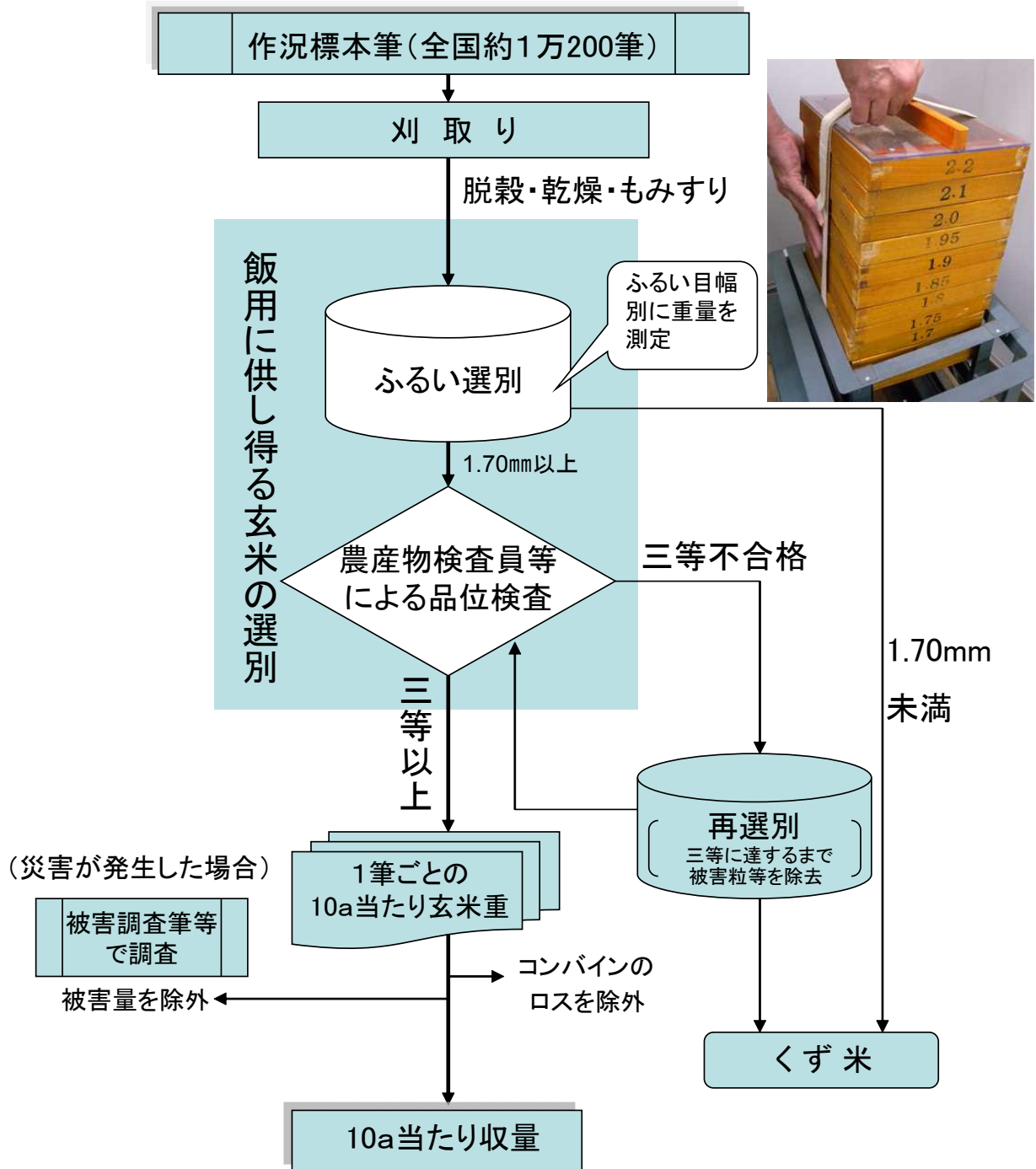
2 全国の「…」は事実不詳を示す。

3 都道府県の「…」は10月15日現在において、その期日に達していないことを示す。

【参考 1】

収穫量調査の流れ

収穫量調査は、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的として、作況標本筆（【参考 2】参照）ごとに一定面積の稲を刈り取り、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別を行い、その重さを計測している（下図参照）。

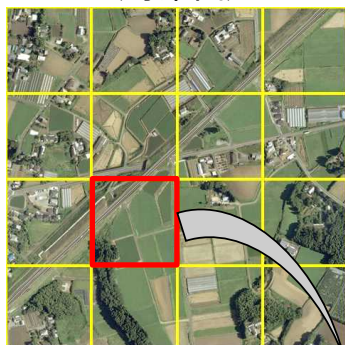


【参考2】

作況標本筆^{ふで}とは

収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆（1枚のほ場を筆と呼ぶ。^{ふで}）は、各都道府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて以下のように各地で選定し（全国で1万200筆）調査している。

全国の全ての土地
（母集団）



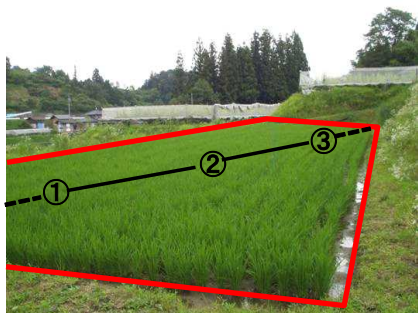
- 1 全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法（人間の恣意を排したくじ引きのような選び方）により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
（200m四方の土地）



- 2 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
（全国で1万200筆）



- 3 各作況標本筆の対角線上の3か所（①、②、③）を実測調査箇所として、調査箇所ごとに1㎡（合計3㎡）分のサンプル採取（坪刈り）を行っている。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の水稲作付面積調査及び水稲予想収穫量調査として実施し、水稲の作付面積、作柄状況・予想収穫量を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、経営安定対策、技術指導等の農政推進のための資料とすることを目的としている。

2 調査の対象

調査は、全国の各都道府県を対象に調査を行っている。
なお、全国農業地域の区分は、次のとおりである。

全国農業地域名	所属都道府県名
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北陸	新潟、富山、石川、福井
関東・東山	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東海	岐阜、静岡、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国	徳島、香川、愛媛、高知
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
沖縄	沖縄

3 調査対象数

- (1) 作付面積調査
標本単位区：39,369単位区 巡回・見積り：1,719市町村
- (2) 予想収穫量調査
作況標本筆：10,248筆 作況基準筆：647筆 巡回・見積り：1,719市町村

4 調査事項

水稲の作付面積、穂数の多少、もみ数の多少等の生育状況、登熟状況、被害状況及び耕種状況

5 調査期日

- (1) 作付面積調査：7月15日現在
- (2) 予想収穫量調査：10月15日現在

6 調査方法

- (1) 作付面積調査
調査は、標本単位区に対する職員又は統計調査員による実測調査及び職員による巡回・見積りにより行った。
- (2) 予想収穫量調査
調査は、職員又は統計調査員による、作況標本筆及び作況基準筆に対する実測調査並びに巡回・見積りにより行った。
ふるい目幅別の調査は、刈取り・もみすりした粗玄米を縦目ふるいにより、ふるい目幅別に選別し重量を計測することにより行った。

7 集計方法

- (1) 作付面積調査
対地標本実測調査結果及び巡回・見積り結果により取りまとめている。
- (2) 予想収穫量調査
調査事項について、作況標本筆調査結果を集計し、巡回・見積りにより補完して取りまとめている。
ふるい目幅別については、ふるい目幅別の重量の計測結果を集計し取りまとめている。

8 用語の解説

- (1) 「青刈り」とは、子実の生産以前に刈り取られて飼肥料用などとして用いられるもの（WC S用稲、わら専用稲等を含む。）のほか、飼料用米、バイオ燃料用米を指す。
- (2) 「作況指数」とは、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり予想収量の比率である。

なお、平成26年産以前は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出していたが、平成27年産からは、全国農業地域の農家等が使用しているふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでのふるいの目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

全国農業地域名	所属都道府県名	農家等使用目幅
北海道	北海道	1.85mm
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	1.85mm
北陸	新潟、富山、石川、福井	1.85mm
関東・東海	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野	1.80mm
東海	岐阜、静岡、愛知、三重	1.80mm
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	1.80mm
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	1.80mm
四国	徳島、香川、愛媛、高知	1.75mm
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島	1.80mm
沖縄	沖縄	1.75mm

- (3) 「10 a 当たり平年収量」とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合いや作付変動等を考慮し、実収量のすう勢を基に作成したその年に予想される10 a 当たり収量をいう。

9 その他

- (1) 本調査（10月15日現在）は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数、登熟状況等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。また、作付面積は概数値である。
- (2) 本調査についての確定値は、「平成27年産水陸稲の収穫量」として12月上旬に公表する予定である。

【ホームページ掲載案内】

○各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【<http://www.maff.go.jp/j/tokei/>】

この結果の分野別分類は「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類は「米」に分類しています。

【関連リンク】

農林水産施策関係ページ：農林水産省＞組織・政策＞大臣官房の部局別トップへ

<http://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織・政策＞政策統括官の部局別トップへ

http://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/

— お問合せ先 —

◎本統計調査結果について

- ・作付面積に関すること

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 面積統計班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線3681

(直通) 03-6744-2045

F A X : 03-5511-8771

- ・予想収穫量に関すること

生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線3682

(直通) 03-3502-5687

F A X : 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 広報普及班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線3589

(直通) 03-6744-2037

F A X : 03-3501-9644